

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 2月12日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0172901175		
法人名	株式会社 コスモス		
事業所名	グループホーム 太陽		
所在地	北海道旭川市東旭川町共栄29番地の12 (電話) 0166-34-9143		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年2月9日	評価確定日	平成20年2月15日

## 【情報提供票より】(平成20年1月28日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年 2月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	19 人	常勤 9人, 非常勤 10人, 常勤換算	14.4人

### (2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1階建ての	~ 1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000 円	その他の経費(月額)	19,000~25,000 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,200 円	

### (4) 利用者の概要(1月28日現在)

利用者人数	18 名	男性 2 名	女性 16 名
要介護1	2 名	要介護2	11 名
要介護3	1 名	要介護4	3 名
要介護5	1 名	要支援2	
年齢	平均 84.6 歳	最低 77 歳	最高 94 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	旭川ペインクリニック病院、東光中央医院、おくのファミリー歯科
---------	--------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

畑作地帯に位置し広大な敷地を有する中、260坪の野菜畑や果樹広場、そして花壇が整地されており、車道との境界にはコスモスを咲かせるなど安全面にも配慮されています。菜園では無農薬で野菜を沢山作り一部は越冬し、調理師免許を持った職員がこだわりの食材で調理するなどスキルとマインドも高く、食事がより楽しいものになっています。平成19年4月に施設長・管理者をはじめ、新しい体制になって間もないが外部評価を受けるなど真摯に改善が進んでいます。また、施設長・管理者と職員間の信頼関係が構築されており、そのことが利用者の表情の明るさにも反映され、親しみやすいホームとなっています。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回の評価(平成17年2月)では運営理念・生活空間づくり・ケアサービス・運営体制について改善点があり、事務引継ぎもなされていなかったが施設長・管理者・職員が気持ちを一つにして随所に改善の努力と熱意が感じられました。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 現スタッフ下では自己評価の取り組みが始めてであり、また時間が取れなかったこともあり全体化されているとは言えないが、今回の外部評価の結果については運営推進会議で報告され、改善の機会として取り組むことになっており全職員が評価の意義を確認し合い理解が深められています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 新しい体制に変わって間もない為に2カ月に1回の実施とはなり得ていません。前回の主題についてはホームの概要説明 運営推進会議の役員とホームとの意見交換 次回開催の運営推進会議の要望や取り組みについてなどで会議が行われ、今後は市などの協力を得ながら、地域住民と更なる連携の姿勢が伺えました。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 行事の案内・写真を送るなど日常の暮らしぶりなどが家族に報告されています。今後はさらに、「たより」を定期的に発行し職員の紹介や運営推進会議の内容なども家族に報告し、意見や要望が言いやすい雰囲気づくりに日々取り組まれています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 畑作地に所在しているため住民が少ないなどの地域的に難しい面もあるが、農作業の合間を見ての交流もあります。また、近隣の保育園行事の参加を通じて地域の人々との親しみのある、より良い交流に努めています。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	管理者はじめ職員はホーム独自の理念「あるがままに」「なすがままに」を基本にその意味を理解し、地域の中で快適に暮らせるよう運営方針に沿った具体的な進め方で業務に臨んでいます。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホームの運営基本理念は誰でもわかるよう、見やすい場所に掲示されており全職員が毎朝声に出して唱和することでより意識が高められ、実践に向けた取り組みが見られます。		新体制の下、理念達成のために職員個々の具体的な目標を掲げるなどの取り組みを期待します。
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	筋向かいにある保育園の「お遊戯会」にも積極的に参加し、また町内会の焼肉パーティー・敬老会へも出席するなどして地元の人々との交流に努めています。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は自己評価及び外部評価を実施することの意義を理解するべく方向に向けて現在、それらのことを踏まえて具体的な改善に取り組んでいます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営体制変更後には一回目の運営推進会議が町内会長・家族代表(2名)・民生委員・スタッフの参加により開催され、ホームの概要説明、職員の自己紹介をはじめ意見交換等も行われています。</p>		<p>今後においても定期的な運営推進会議の開催で、より幅の広い人々の参加のもと具体的な内容について話し合いを行い、サービスの向上に活かしていくことが望まれます。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市や地域包括支援センターで開催される研修等にも積極的に参加し、サービスの質に繋げるよう取り組んでいます。</p>		<p>事業所は市との連携の重要性を理解して更にサービスの質の向上を検討していくことが望ましい。</p>
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>日常の様子や健康状態については面会時に職員からの報告があり、また郵送でも写真や文面などで状況を報告しています。緊急な事態においては都度迅速な対応が行われ、金銭管理も適切に行われその旨家族へ報告されています。</p>		<p>今後は定期的に「たより」の発行が予定されています。職員の紹介や運営推進会議の内容など家族に報告していくことも検討されており、それらの実践に期待します。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関入り口前には「投書箱」が設置され、苦情・不満・要望などが記入できる用紙を郵送するなどし、それらを表せる機会が設けられています。「苦情処理簿」もあり運営に反映されています。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>運営者は職員の異動や離職者を出さないよう努力し、変わる場合においても入居者へのダメージが必要最小限に抑えられるよう配慮されています。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各研修会でのスキルアップを行い、資格にも挑戦できるよう、勤務状態を考慮し職員への応援・育成に努めています。		介護福祉士に2名の合格者を出すなどホームとして職員の育成に努めている。今後はOJTなどの職場内研修の実施が期待されます。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	新体制のもとグループホーム協議会にも加入し、より多くのネットワークを築かれようとしています。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に可能な限り利用者宅を訪問したり、利用者・家族に見学してもらい不安を解消するなどの取り組みがなされています。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者の過去の生活歴の中から日常生活行為を通して本人から多くを学び、共に支え合う関係を築いています。		認知症ケアに有効な研修や勉強会で更にスキルアップされることを期待します。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの思いや希望を職員間で共有し、編み物、畑作りや草花の管理など趣味の支援に取り組んでいます。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	週3回のミーティングや毎月行われる全体会議で個々の処遇について話し合わせ、本人家族と職員の意見が反映され、本人がより良く暮らす為の介護計画が作成されています。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	定期的な見直し、状態の変化には連絡ノートの回覧により、迅速な対応ができる計画づくりがなされています。		個人毎のファイルに見やすくまとめることで、必要時の確認やプランの見直しもスムーズに行われるような工夫が望まれます。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	広い野菜畑や果樹広場を利用し、筋向いにある保育園児たちが気軽に立ち寄れるなど触れ合いの場が確保されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援  利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	かかりつけの主治医との連携ができており、健康管理の指導を受けるなど医療機関の支援が行われています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について入居時に利用者・家族の意向を確認し、かかりつけ医と相談されています。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重しており、声かけにも配慮が見られます。		
21	52	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの気持ちを大切にしており、買い物や散策など利用者の希望に沿った支援に努めています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理師の免許を持っている職員と利用者本人が楽しみながら一緒にいもの皮むきなど食事の準備をしています。食事前にはメニューの説明もあり、職員との一緒に食事風景が和やかな雰囲気を醸し出しています。		個々の食事量・塩分・カロリー・バランスが利用者の状態に応じた内容になっており適切な支援がされています。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴前にバイタルなどチェック表にて管理されています。基本的には週3回となっているが利用者の体調にも十分考慮された入浴支援が行われています。		重度化された利用者も浴槽に浸かれ、入浴が楽しめるよう職員の入浴支援のスキルアップする取り組みが期待されます。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴を活かし、日々の中で楽しみが持てるよう毛糸編み、花壇、菜園の作業や食事に関わるお手伝いなどをさせていただき気晴らしになる支援につながっています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の好みに応じ、大雪山連峰を眺められながらの散策やホームの買い物と一緒にするなどされています。また、ドライブレクリエーションで戸外に出かけられるなどの個々に合った支援が行われています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵を掛けておらず、センサーの設置等で心理的圧迫を与えることのないようなケアに取り組んでいます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<b>災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	全利用者・全職員が参加し、消防機関の指導のもと避難訓練が行われています。消火器の設置場所にはチェック表に分かりやすく書かれており、器具の整備にも配慮されています。		今後の計画において地域の方々にも一緒に避難訓練に参加してもらえるような取り組みが望まれます。
28	77	<b>栄養摂取や水分確保の支援</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分量においては確認の記録もされており、有資格者の調理師によりその方に応じた塩分やカロリー、更にはバランスについても適切な支援が行われています。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> (1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<b>居心地のよい共用空間づくり</b> 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	窓を改造し、車椅子ごとベランダへの出入りを可能にし、陽を浴びながら茶菓を楽しむことができ、果実や菜園の育成状態や季節感を十分に感じられるものとなっています。		ホーム全体にゆとりがあるので、それらの空間を利用し、入居者が一人になれる居場所の確保も必要と思われます。
30	83	<b>居心地よく過ごせる居室の配慮</b> 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	洋服タンスなど、使い慣れた家具の持込は自在とされており、自宅の延長の場となれるような工夫がされています。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。